

宇都宮市建築物耐震改修促進計画（案）に関するパブリックコメントについて

1 パブリックコメントの実施状況

(1) 意見の募集期間 平成19年 5月25日(金)～ 6月 8日(金)

(2) 意見の応募者数・件数 5名(10件)

(3) 提出方法の内訳

	郵送	ファクシミリ	Eメール	持参	電話	計
人数				5		5

2 意見の概要と市の考え方

施策について(6件)

	意見の内容	意見に対する市の考え方
1	県の耐震化計画では,学校の耐震化率の目標が90%となっているが,今回の案では100%にしたことは,必要なことであると思う。是非,進捗状況を公表して欲しい。	進捗状況の公表は行ってまいります。
2	耐震改修を考える方は,比較的高齢者が多いため,安心かつ簡単に相談できる電話等での相談も必要ではないか。	相談窓口では,電話での相談にも対応しております。
3	悪質リフォーム業者による工事防止のために,相談窓口のPRを積極的に行うべきである。	関連団体等と連携し,周知広報に努めてまいります。
4	改修が進まない原因として,主に費用がかかることが挙げられるが,安い費用で効果のある改修方法を普及してほしい。	耐震診断補助金を平成19年度より最大10万円に拡充し,さらに耐震改修に対する最大30万円の補助制度を創設する他,相談窓口で耐震改修方法等に関する相談にも対応してまいります。これらの制度の周知広報に努めてまいります。
5	昭和56年以前のビルには,耐震性があるか否かのシールをはるべき。	今後の施策の参考とさせていただきます。
6	耐震の重要性は市民だけでなく,宇都宮市で事業を行う事業者にも広	今後の施策の参考とさせていただきます。

	意見の内容	意見に対する市の考え方
	く周知する必要がある。事業者は、利益追求になりがちであることから、P21の基本的な考え方の「市民（建築物所有者）の役割」に、事業者を含めるのではなく、市民・事業者・市の役割をそれぞれ明らかにするため、意識啓発を進めることが必要だと思う。	

その他（４件）

	意見の概要	意見に対する市の考え方
1	耐震診断はどのくらいの費用がかかるのか。	建物の延べ面積により異なりますが、おおよそ15万円前後になります。費用のうち2/3は補助金の交付を受けられます（上限10万円）。
2	耐震診断について、すべて無料にはできないのですか？	今後の施策の参考とさせていただきます。
3	昭和56年以前の建物に一律の補強が必要か。	耐震性のある場合もあり、耐震診断後耐震改修の必要性を確認します。
4	宇都宮直下型地震の起こる確率は何年に一度と予測されているのか。	大地震は、日本全国いつどこで発生してもおかしくない状況であり、確率の問題ではございません。